

Vol
194

投資信託の決算頻度、あなたの資産運用に最適なものは？

先日、「投資信託の決算頻度が異なると、パフォーマンスに影響があるのか？」というご質問をいただきました。「これだ！」と思える運用方針の投資信託を見つけたものの、「1年決算型」と「年2回決算型」があり、どちらを選ぶべきか迷っているとのことでした。そこで今回のこよみでは、決算頻度の異なる投資信託についてご説明します。

●決算頻度が異なる投資信託のイメージ

ファンド名	基準価額	純資産総額
××××ファンド(1年決算型)	25,800円	3,305億円
××××ファンド(年2回決算型)	11,280円	1,205億円
××××ファンド(毎月分配型)	8,765円	657億円

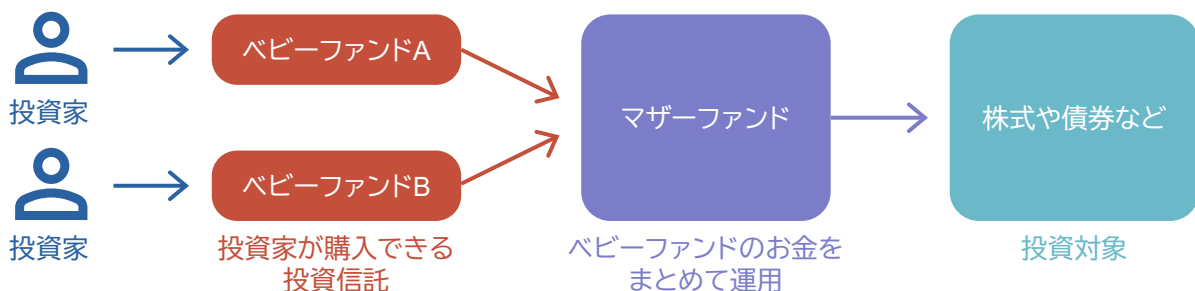
基準価額の水準がマチマチだと、パフォーマンスの違いは分かりづらいですね。



運用のコアの部分を共有できる「ファミリーファンド方式」

決算頻度が異なる投資信託は、様々な投資家のニーズに応えるために生まれました。ただ、個々の投資信託が同じ株式などの売買をそれぞれで行なうと、投資信託の数だけ運用のコストがかさんでしまいます。

そうした運用の非効率性を軽減する仕組みとして主に使われているのが「ファミリーファンド方式」です。そこでは、投資家が直接購入できる「××××ファンド(1年決算型)」などを「ベビーファンド」、そして、複数のベビーファンドの資金を集めたうえでまとめて株式の売買などをするファンドを「マザーファンド」として、運用が行なわれます。

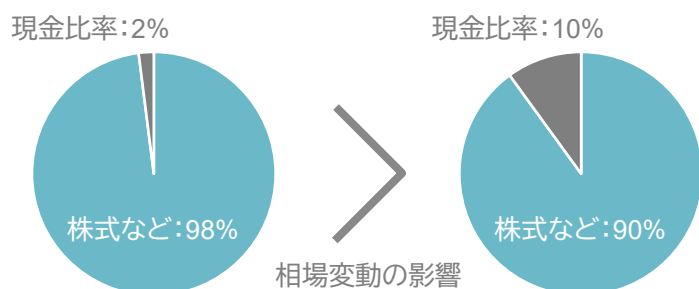


※上記はイメージです。※投資家が直接マザーファンドの売買を行なうことはできません。※単体の投資信託で直接株式や債券などの売買をする方式を「直投(じきとう)」といいます。

現金比率の違いがパフォーマンスの差の一因に

同じマザーファンドを使っていれば、パフォーマンスに差は生じないように思えます。しかし、実際には、ベビーファンドによって投資家からの設定・解約のお申込みや分配金の支払いなどの対応に差があるため、影響はゼロではありません。

例えば、「設定・解約の金額が大きい」「分配頻度が高い」「分配金額が大きい」といった場合には、一時的にでも現金比率が高くなりがちです。そして、現金比率が高いと、実質的に株式などで運用される割合が減ることになります。ただ、大きな差が何日にもわたって続くわけではないので、決算頻度の違いによる短期的なパフォーマンスの差は限られたものになると考えられます。



基本的には影響は大きくないといっても、現金比率が高いときに相場が大きく動くと、基準価額への影響は大きくなるかもしれませんね。

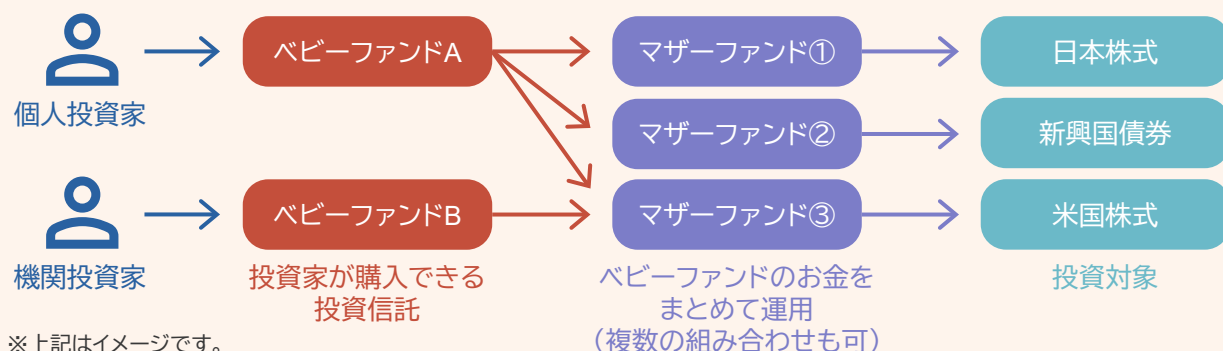


※上記はイメージです。

話題のインデックスファンドでも!? 広く使われるファミリーファンド方式

ファミリーファンド方式は、最近人気が高まっているインデックスファンドをはじめ、多くの投資信託の運用において用いられています。また、保険会社や年金基金などの機関投資家の資金もあわせて運用されている場合もあり、マザーファンドでの運用金額は個々のベビーファンドの規模にくらべて大きくなります。

ベビーファンドは、1つでも複数でもマザーファンドを使うことができます。そのため、ファミリーファンド方式を利用すれば、新しく投資信託を作る場合でも、既存のマザーファンドを活用して、当初から効率的な運用を実現しやすくなるというメリットがあります。



※上記はイメージです。

しっかりと分配方針や運用実績を確認してから選ぶ

「同じ運用方針であればパフォーマンスにそれほど差は生じない」という前提に立ったとしても、投資信託を選ぶ際には、名前だけで判断せず、分配方針や運用実績をしっかりと確認することが大切です。

例えば、「××××ファンド(1年決算型)」と「××××ファンド(毎月分配型)」では、前者の方が相場の動きを反映しやすく、上昇局面ではより良好な成果を出すことが期待できそうです。そのため、長期的な投資成果を期待したい方は「××××ファンド(1年決算型)」のような、決算頻度の低い投資信託を選ぶケースが多いでしょう。

しかし、投資信託の中には、「基準価額が10,000円以上のときに分配する」というものや、年1回のような低い頻度でも分配金を支払ってきたものもあります。さらに、最近では、少額投資非課税制度(NISA)を意識して、定期的に支払ってきた分配金の水準を引き下げるものも出てきています。悩ましいのは、そうした情報が投資信託の名前だけでは判断できないという点です。

決算月	基準価額	分配金
2021年4月	10,600円	100円
2022年4月	11,500円	100円
2023年4月	10,950円	100円
2024年4月	12,320円	0円
2025年4月	???円	?円

NISAを意識して分配金の水準を変更する投資信託もあります。分配金実績を見て、イメージ通りなのか確認することは大切です。

新NISAスタート



※上記はイメージです。

そのため、投資家の皆様には、目論見書や月次報告書(マンスリーレポート)などの情報を改めてご確認いただきたいと思います。こうした書面を読むのは少し手間のかかる作業ですが、大切なお金の置き場所を決めるための大事なひと手間です。パフォーマンスを見通すことはできませんが、その投資信託を長く持ちたいとお考えなら、あらかじめ確認しておける部分はしっかりと押さえていただきたいと思います。

直近の運用実績は、運用会社のホームページなどからもご確認いただけます。



nikko am

コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00

日興アセットマネジメント